

平成16年12月17日

食品に関するリスクコミュニケーション  
 ―日本における牛海綿状脳症（BSE）対策に関する意見交換会―  
 開催状況

食品安全委員会では、今後のプリオン専門調査会などにおける議論の参考とするため、また、広く関係者の意見を議論に反映させていくため、厚生労働省、農林水産省、都道府県などの協力を得て、全国各地で意見交換会を実施しており、12月16日現在までに35都道府県38会場で意見交換会を開催した。（平成17年1月17日までに更に12会場で実施予定。）

＜プログラム＞

1. 「日本における牛海綿状脳症（BSE）対策について―中間とりまとめ―」の内容と  
 プリオン専門調査会における議論について説明  
食品安全委員会委員又はプリオン専門調査会専門委員
2. リスク管理省庁からの諮問の考え方について  
厚生労働省及び農林水産省担当者
3. 会場との意見交換

＜開催地域＞

開催日		開催日	
平成16年			
11月8日(月)	釧路	12月13日(月)	京都・名古屋
11月9日(火)	帯広	12月14日(火)	津・岐阜
11月10日(水)	旭川	12月15日(水)	福井
11月11日(木)	北見	12月16日(木)	金沢・富山
11月12日(金)	宇都宮	12月20日(月)	高知
11月15日(月)	福岡・佐賀	12月21日(火)	高松
11月16日(火)	長崎	12月22日(水)	松山
11月17日(水)	熊本・鹿児島	12月24日(金)	千葉
11月18日(木)	宮崎		
11月19日(金)	那覇		
11月21日(日)	大分		
11月22日(月)	前橋	平成17年	
11月23日(祝)	大津	1月6日(木)	水戸
11月24日(水)	岡山	1月7日(金)	横浜・さいたま
11月25日(木)	大阪・神戸	1月11日(火)	静岡
11月26日(金)	徳島	1月12日(水)	長野
11月29日(月)	和歌山	1月13日(木)	甲府
11月30日(火)	奈良	1月14日(金)	新潟
12月1日(水)	鳥取	1月17日(月)	東京
12月2日(木)	松江		
12月3日(金)	山口・広島		
12月8日(水)	山形・仙台		
12月9日(木)	盛岡・青森		
12月10日(金)	秋田		

※福島県については、10月20日(水)「ふくしま食の安全・安心シンポジウム」の際に、実施済みである。

## 全国各地での意見交換会で出された主な意見（12月17日現在）

### ○ BSE 及び BSE 対策一般について

- ・ 国内対策が十分講じられ、v CJD のリスクは十分低減されていることは理解できるが、輸入牛肉（特に輸入再開が議論されている米国産牛肉）については同等の対策が講じられているとはいえないのではないか。
- ・ 政府は、欧米と同様に v CJD のリスクは飼料規制と SRM の除去で低減できるのであり、検査はサーベイランスの目的で行うと説明すべき。
- ・ この時期に種々の対策の見直しをしようとするのは、やはり、米国産牛肉の輸入再開が目的なのではないか。
- ・ BSE 問題は政府の失態によって生じたのに、3年間で見直すのは無責任であり、時期尚早。
- ・ 早急に国内 BSE 感染の原因を解明して欲しい。

### ○ 検査について

- ・ 消費者の安心のために全頭検査を継続すべき。経過措置は2重基準で不安を増幅する。
- ・ 検査してもしなくてもリスクに変わりのない20ヵ月齢以下の牛の検査は止めるべき。経過措置も混乱の元である。
- ・ 自治体が全頭検査を行う場合は期間を区切らず助成すべき。
- ・ 生体検査や20ヵ月齢以下でも判定できるような検査技術の開発、改善を求める。
- ・ 20ヵ月齢以下の牛について、検査済み、未検査のものが分かるようにして欲しい。

### ○ SRM 除去について

- ・ ピッシングを早期に中止して欲しい。
- ・ 国ごとに SRM の基準が異なるのは混乱の元である。

### ○ 飼料規制等について

- ・ 同居牛から1頭も陽性牛が出ていないのだから、殺処分について検討して欲しい。
- ・ 肉骨粉の有効利用について検討して欲しい。

### ○ その他

- ・ 米国産牛肉の輸入再開に当たっては、米国の圧力に屈せず安全性最優先で取り組んで欲しい。
- ・ 早期に米国産牛肉の輸入を再開して欲しい。
- ・ v CJD の人から人への感染が心配である。